



# 生ごみリサイクル通信

平成17年3月7日  
リサイクル推進課

2

仙台市生ごみ減量リサイクルホームページ <http://www.gomi100.com/million/03/>

## 生ごみリサイクルのすすめ

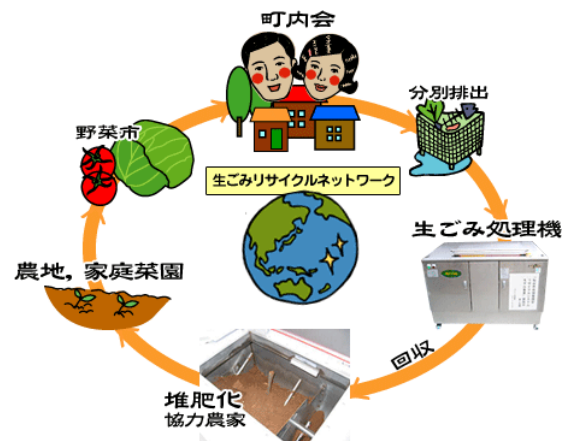
春風の候 庭仕事，土づくりの季節の到来です。

昨年9月から始まった，御堂平団地，ラル・シティ白鳥での生ごみリサイクルのモデル事業では，家庭からの生ごみが生ごみ処理機で処理され，生産農家でたい肥として活用されています。毎日の生活からの生ごみを焼却処分するのではなく，たい肥として活用することにより自然の循環の輪がつながります。

生ごみ処理機は24時間自由な時間にご利用いただけますので，まだ生ごみ処理機を利用していない方もぜひご活用下さい。

生ごみ処理機のご利用には鍵（各世帯ごと）が必要です。

送付ご希望の方は下記電話までご連絡ください。



野菜市（平成16年12月）	私達が野菜を作っています
	
ラル・シティ白鳥	ひまわり会の皆さん

生ごみのリサイクル量（下記生産農家の方々がたい肥として活用しています。）

平成16年9月～2月までの生成物の量。換算すると約4トンの生ごみがリサイクルされました。

御堂平団地	朝市・夕市ネットワーク	308kg
ラル・シティ白鳥	ひまわり会	260kg

皆様のご参加をお待ちしています

仙台市リサイクル推進課 電話 214-8229

生成物の利用をご希望の方へ

## お 知 ら せ



### 利用方法について

平成17年4月から生ごみ処理機からの生成物は、処理機の横のケースに保管しますので、地域の皆さんでご自由にご利用下さい。利用の際はケースから備え付けのスコップで必要量を取り出し、お持ち帰り下さい。

- ★投入する生ごみの量が少ない時は、利用できる生成物が無い場合があります。
- ★ビニールなどの異物が入っている場合がありますので、取り除いてご利用ください。

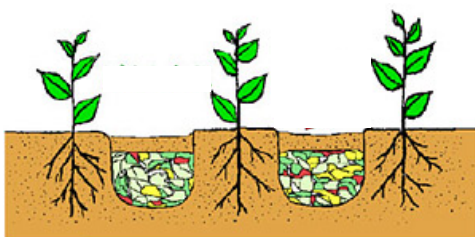
### 生成物の使い方

生ごみ処理機からの生成物はたい肥化（1次処理）されておりますが、たい肥として使うにはひと手間が必要です。未分解のまま土に入れると急激に分解して炭酸ガスや発酵熱により根が痛む場合があります。安心してお使いいただくためには**2次処理**が必要です。

#### 2次処理の手順

- プランターなどに生成物1に対して土5を入れ、よくかき混ぜます。
- 腐葉土を混ぜると分解が早まります。
- 時々切り返しをして空気を入れます。
- 夏場は2週間、冬場は1ヶ月程度でたい肥として使えます。

- ★なお、2次処理をしないで利用する場合は、植物の根に触れないように十分間隔をあけて埋めてください。



完熟たい肥にすると  
安心して使えます。